

中小岩小学校応援団実践報告書

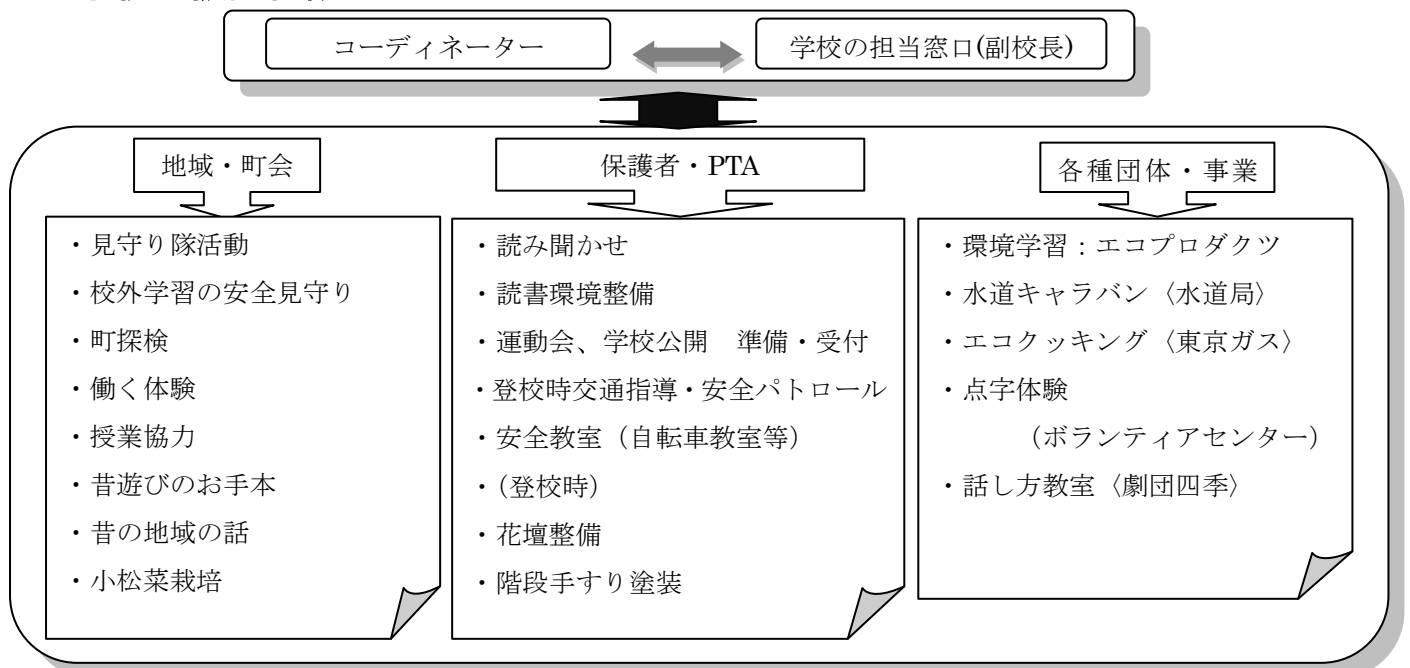
1 校長及び代表者氏名

学校長 中小岩小学校 校長 近谷 幹男
 代表 学校応援団 代表 内田 泰雄

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	朝の交通見守り 安全教室 菖蒲園給食・マラソン大会 等の見守り	○登校時、通学路での安全を見守る。 ○自転車教室でのお手伝いをする。 ○校外学習をするときの安全支援をする。
学習活動	働く体験受け入れ 昔遊びお手本・支援 ミシン学習・調理実習支援 小松菜栽培支援 出前授業 エコクッキング 環境学習 水道キャラバン 美しい話し方教室 点字体験 等	○働くことの意義や生き甲斐などを学ぶ。 ○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○小松菜栽培の指導や体験の支援をする。 ○各種授業のゲストティーチャー
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。
環境整備	環境整備	○花壇の花を植え替える。 ○階段の手すり塗装を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・地域の方々、熟年者方々の協力による学習支援（職場体験や昔遊び指導など）を例年同様、継続して行うことができた。
- ・3年生の地域の工場見学で、新たな見学先を見つけることができた。
- ・多くの保護者の協力を得て、児童の安全・安心を守る活動が定着した。
- ・校舎内の階段の手すり塗装をお父さん方に呼びかけ、やっていただいた。明るくきれいになったと子供たちからも好評だった。
- ・地域協力者による高学年児童に対しての読み聞かせが定着した。
- ・読書環境整備ボランティアの活動が軌道に乗り、年間を通して継続した活動を行うことができた。
- ・学校応援団カレンダーやデータファイルを作成したので、担当者が代わっても同様な活動を進めていきやすくなった。

<課題>

- ・読み聞かせは、現在、保護者がわが子の学級で行うことが基本になっており、学級により協力者の片寄りがある。わが子以外の学級への読み聞かせ体制を作っていきたい。
- ・お父さん方の特技や意欲を生かした継続した活動をおこなっていきたいと考えているが、どのような活動へと広げていったらよいか方向性が定まっていない。

5 代表より

今年度は読書環境整備ボランティアの人数が増え、月に1回ほどのペースで継続した活動を行うことができました。工夫を凝らした表示等のある図書室で、子供たちは読書をしたり、調べ学習をしたりしています。

また、中小岩小学校の子供たちは地域ボランティアの方々とすっかり顔見知りになり、「地域で子供を育てる」気持ちが広がってきています。ボランティアの方々とのつながりをさらに深めていきたいと思います。

6 学校長より

定期的に高学年に読み聞かせをしてくださっている方から、「町で出会うと、あばさ〜んと声をかけてくれたり、こんにちは〜とあいさつしてくれるんですよ。本当にうれしくなります。」というお話をうかがい、地域協力者の方と子供たちのつながりが深まってきていることを強く感じています。地域の方による子ども見守り隊や学習支援ボランティアの方々についても同様なお話をうかがいます。学校応援団活動が定着し、地域の方と学校、子供たちのつながりが強くなってきています。

また、読み聞かせ、読書環境整備、花壇整備などの学校環境整備等、保護者による協力もたくさんいただいています。わが子のために、中小岩小学校の子どものためにという思いが伝わってきます。

しかし、学習支援については、まだまだ子供たちの学習の助けとなる活動について広げていかれるのではないかと考えています。今後この課題解決に向け、取り組んでいきます。

これからも子供たちと協力者の皆様との心のつながり、ふれあいを大切に、活動のさらなる充実、開発に努めていきます。